



ベリタス病院ニュース

第155号

発行日 2014年12月1日

大学や地域と共働し、救命救急の能力や向上に取り組んでいます！！

ベリタス病院二次救命処置 (ICLS)コース開催！！

目次	
ICLSコース開催	1
医療講演会・ご意見箱	2
感染予防のために 手を洗おう！	2
エボラ出血熱について	2
栄養通信	3
レシピ 治験からのお知らせ	4
年末年始の診療案内	4

第3回の「ベリタス病院ICLSコース」を11月1日（土）に大阪市立大学医学部スキルスシミュレーションセンターで開催いたしました。

インストラクター、受講生として院内から医師、看護師、コメディカル、事務から総勢37名の職員が参加し、川西消防署からは、7名もの救急救命士、消防士の方に参加していただきました。また今回は地域の医院にお勤めの看護師さんの参加もあり、院内他職種、他施設の職員、救急隊員との交流の場ともなりました。今回は当院の辻村院長も参加し、コースの目標でもある、参加者が「楽しく学ぶ」場面を一緒に体験しました。4組のブースに分かれて、チームとして蘇生のために必要な知識や技術を学びますが、昨年度受講した職員が今年度はインストラクターとして指導する立場になり、これを継続・繰り返すことで、院内の多くの職員が二次救命処置を身に付けられるようになります。またチーム医療の大切さを実感できるコースでもあります。

「継続は力なり！」 医療従事者として「適切なチーム蘇生」を学ぶために、今後もこの取り組みを続けていきます。

安全管理室 高木 薫

蘇生トレーニングの様子



ベリタス病院基本理念

基本理念

真心のこもった良質な医療を通して地域社会に貢献します

基本方針

1. 安全で安心な医療を提供します
2. 優秀な医療技術の向上に努めチーム医療を推進します
3. 快適な医療環境を提供します
4. 全職員が誇りをもって働ける環境をつくります
5. 安定した経営を維持し地域と職員に還元します



「ICLS」とは「Immediate Cardiac Life Support」の頭文字を取った略語です。突然の心停止に出会った時にどのように対処すべきか、というコースの学習目標を端的に示しています。心停止はどの医療機関のどの部署においても起こりうるもので、いったん発生すれば蘇生を開始するまで少しの猶予もありません。まさに「Immediate（すぐに、間髪をおかない）」な処置が必要となるのです。心停止直後の処置には、あらゆる医療者がチームの一員として参加し、蘇生を行うことが求められています。ICLSコースでは、あらゆる医療者が身につけておくべき、蘇生の基本的事項を習得できるようにしています。

日本救急医学会 ホームページより引用

医療講演会のお知らせ

★参加費は不要です。お気軽にお越しください★

TEL 072-793-7890(代) FAX 072-793-0900

e-mail rennkei@shinshinkai.jp

日時・場所 : 12月2日(火) 13:30~15:00
清和台第4自治会館

テーマ : 「脳卒中について
～診断から治療まで～」

講師 : 脳神経外科医長 櫻井 靖夫

『脳卒中』とは、脳梗塞、脳出血、クモ膜下出血の総称です。

脳卒中は死亡原因の第4位(第1位悪性腫瘍 第2位心臓病、第3位肺炎)、寝たきり原因の第1位とされています。

そんな身近な病気である脳卒中は、いずれも短時間に神経症状や強い頭痛を起こします。そして、放置すると生命にかかわったり、神経症状が後遺症として残ることになります。薬や手術で迅速に治療すればその危険性を最小限にすることが出来るようになっていきます。講演会でそのコツを説明します。

感染予防のために手を洗おう!

手洗いは感染性胃腸炎やインフルエンザなど、感染性疾患を予防する上で最も重要な感染対策です。

手洗いには、衛生的な手洗法(石鹸と流水による手洗いの事)と速乾性擦式消毒薬(アルコールのスプレーやジェル)による手指衛生法との2種類があります。今回はこの2つの方法をご紹介します。

【セッケンと流水による手洗い法】

- ①しっかり濡らしてから石鹸を手取る
- ②15秒以上かけて指先から手首まで全体的に擦る
- ③流水ですすぐ
- ④手をしっかり拭き取る

【アルコールのスプレーやジェルによる手指衛生法】

- ①メーカー推奨量(1~2プッシュ程度)を手取る
- ②指先から手首まで乾くまで全体的に擦り込む(15秒程度)



皆様のご意見をお聞かせください

当院ではより良い病院を目指して、皆様からのご意見やご要望を反映させていただいております。

この度、投書箱をリニューアルし、よりわかりやすいように設置いたしました。是非お気づきの点、ご意見などをお寄せいただければ幸いです。

いただきましたご意見につきましては、可能な限り回答し、院内に掲示させていただいております。

【ご意見箱の設置場所】

- | | | |
|----|---|----------|
| 1階 | : | 受付 |
| 2階 | : | 2A病棟 談話室 |
| | : | 2B病棟 談話室 |
| 3階 | : | 3階病棟 談話室 |
| | : | 産科病棟 談話室 |
| 4階 | : | 4階病棟 談話室 |



業務改善・サービス向上委員会

エボラ出血熱について

現在、ニュースなどで世間をにぎわしているエボラ出血熱ですが、西アフリカにて流行が持続しており世界的な脅威として認識されております。エボラ出血熱の感染経路は発症した患者さまの血液・嘔吐物などへの直接的な接触とされています。

もし流行国に渡航し帰国した後、1ヶ月程度の間発熱した場合には、万一の場合を疑い、地域の医療機関を受診せずに、最寄りの保健所に連絡をし、その指示に従って下さい。

(詳しい情報は厚生労働省ホームページ

「エボラ出血熱について」をご参照下さい。)

※ 当院の管轄保健所：伊丹保健所

(TEL: 072-785-7464)

また、当院では、エボラ出血熱に対する当面の対策として、発熱症状のある患者さまには海外渡航歴を確認させていただいております。

皆様のご理解とご協力を

お願い申し上げます。



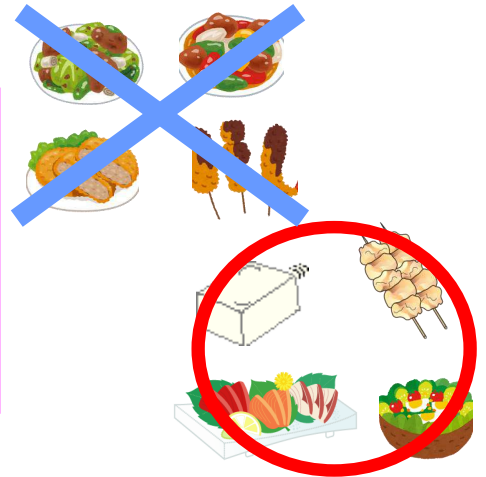


暴飲暴食注意報発令中!!

月日が経つのは早いもので、2014年も残り1ヶ月となりました。皆様はこの1年をどう過ごされましたか？12月と言えば忘年会やクリスマス会、年が明けると新年会と宴会が多い時期ですが、何も考えずに食べすぎたり飲みすぎるとメタボリックシンドロームや高血圧、糖尿病、脂質異常症など様々な病気の原因になります。羽目をはずしすぎず、食べ方や飲み方に注意をしましょう。

お酒のおつまみに気をつける

お酒のおつまみに揚げ物や塩辛い物を頼む人は多いかもしれませんが、揚げ物や炒め物は油が多く使われるため肥満や脂質異常症の原因になります。また、塩辛い物は高血圧の原因になります。さらに、塩辛い物を食べると喉が渇くため飲みすぎの原因にもなります。したがって、揚げ物や炒め物、塩辛い物は避け、焼き鳥や刺身、豆腐、枝豆、サラダなどを食べるようにしましょう。それらのメニューにはアルコールを分解するために必要なたんぱく質やビタミン類が豊富に含まれています。



適正飲酒量を守る

お酒の飲みすぎは二日酔いや肝機能が低下するなど体に悪影響を及ぼします。飲みすぎないために、途中から水やお茶に変更し、左の図の適正飲酒量を守るようにしましょう。

0.6合 (110ml)		焼酎	グラス2杯 (180ml)		ワイン(赤)
1合 (180ml)		日本酒	ダブル1杯 (60ml)		ウイスキー ブランデー
		ビール	中びん1本 (500ml)		

箸を置きながらゆっくり食べる

箸をずっと持ったまま食べるのではなく、一旦箸を置き、ゆっくりと会話を楽しみながら食べましょう。ゆっくりと食べるためにも、料理は少しずつ注文し、テーブルの上が料理であふれないよう注意をしましょう。



シメは注意して食べる

シメに食べるごはんや麺類、デザートは炭水化物や糖分を多く含んでおり、肥満や中性脂肪が高くなる原因になります。ごはんや麺類を食べるときはシメではなく、途中で食べるにより全体的な食べすぎの予防になります。デザートを選ぶときはケーキやアイスクリームは避け、果物やカロリーがより低いシャーベットを選ぶようにしましょう。



飲みすぎや食べすぎは体に悪影響を及ぼしますが、宴会はうまく活用すると交流を深める場になります。飲み方や食べ方に気をつけながら宴会を楽しみましょう。

参考：サッポロビールHP

春雨ときゅうりのレモン風味サラダ



栄養価(1人前)
エネルギー：147kcal
塩分：1.4g

材料(2人分)	
春雨(乾燥)	30g
きゅうり	1本
人参	1/3本
鶏むねひき肉	50g
酒	大さじ2
ごま	少々
ねぎ	1本
ドレッシング	
しょうゆ	大さじ1
酢	小さじ1と1/2
みりん	小さじ1
ごま油	小さじ1
一味唐辛子	少々

ベリタス病院ニュース
発行 医療法人晋真会
ベリタス病院 広報委員会
発行責任者 丸中雅博

〒666-0125
兵庫県川西市新田1-2-23
電話 072(793)7890
FAX 072(792)5771
Email: info@shinshinkai.jp
ホームページ
<http://www.shinshinkai.jp/>

作り方

1. きゅうりはところどころ皮をむき、長さ3cmの千切りにする。人参は皮をむき、長さ3cmの千切りにし、やわらかくなるまでゆでる。ねぎは小口切りにする。
2. 熱湯で春雨をゆで、柔らかくなったら、冷水にとる。ざるにあげて水気をよくきり、長さ3~4cmに切る。
3. ボールにドレッシングの材料を混ぜ合わせる。
4. フライパンに水大さじ4、酒を中火にかけ、沸騰したら弱火にして鶏肉を入れてゆでる。肉がほぐれて色が変わったら火を止め、そのまま冷まし、ざるにあげて水気をよくきる。
5. ドレッシングのボールに春雨、きゅうり、人参、鶏肉、ごまを加えて手早く混ぜ、器に盛ってねぎをのせる。

参考：オレンジページnet

2014年 12月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

年末年始の診療のご案内

年末年始の診療は、12月29日（月）までは通常通りの診療となります。
12月30日（火）～1月3日（土）が年末年始休暇、1月4日は日曜日で休診となります。
新年は1月5日（月）より通常通りの診療となりますので、よろしく願いいたします。
※急患の場合は、一度お電話でご連絡の上、お越しいただきますようお願いいたします。



病院職員への「お気づかいの品」辞退について



私ども病院職員は、すべての患者さまにお気づかいなく診療を受けていただくため、患者さま、ご家族さまからの贈り物はすべてご辞退させていただいております。私たちには「ご退院時の患者さまのお元気な姿と笑顔」が一番の贈り物です。皆さまのご理解をお願い申し上げます。

治験(創薬センター)からのお知らせ

創薬センターでは、以下の疾患を対象とした治験にご協力いただける方を募集しています。

①2型糖尿病 ②不整脈(心房細動)

上記について詳しい情報がお知りになりたい方、治験にご興味をお持ちの方、および治験に関するご質問は、医事課受付を通して、創薬センターまでお問い合わせください。

